

◆**間（はざま）さんのプロフィール**
 32歳で東京の会社を辞めて、熊本県植木町で農家の家と農場を購入したインターン。26年間で有機農業を続けながら、現在夫婦で2人暮らし。ダイコン、レタス、チンゲンサイ、ホウレンソウ等の野菜と水稲を栽培。採卵鶏も飼っている。有機JASの認定を受けており、熊本県有機農業研究会の副理事長もしている。



間司さん、澄子さんご夫婦

◆**有機農業を始めた動機**
 子供が生まれて健康な食べものにこだわりたい、消費者の立場から生産者にならなうた。有機農業は、生活と仕事と子育てが無理なくできる。有吉佐和子著「複合汚染」の影響も。

◆**家庭菜園で有機農業をやりたい人へのアドバイス**
 土作りをきちんとやる。土地の年配の農家に、いつ何を作るかよく聞く。勉強したい人は受け入れれます。

◆**こだわることや技術**
 食べものの質を良くするには環境が良くないならねばならない。自分らの作る野菜を年間食べてもらえらるように多品目作る。抜いた雑草や野菜くずを鶏の餌にし、鶏の糞は堆肥にして畑に鋤き込む循環型農業をやっている。

◆**病害虫対策**
 有機物を継続的に入れて土作りをし、肥料を少なめで、時期に合った作物を作る。単一作物の連作を避ける。それでも虫が出たときは卵の段階で取る。間に合わないときは、虫を潰せるまで頑張り、作物を除去するか鋤き込む。病気は殆んど出ない。水田の害虫ジャンボタニシは防ぎようがないので、水管理に注意して除草に利用している。

◆**苦労している点**
 お客さんのために周年絶やさず作るの忙しい。最近、冬が暖かく虫が越冬し、乾燥と高温が長く続く気候になって虫が増えた。

◆**農業者の育成**
 これまでに研修生を8名受け入れ、有機農業者として定着している。

◆**今後の抱負**
 有機農業の面白さを少しでも多くの人に理解してほしいので、教育ファーム（体験農園）をやって子供たちに食の大切さを教えた。

◆**ひとこと**
 自分で作って食べる醍醐味が美味しい。純粋自然で作った本来の農作物の味を楽しんで欲しい。環境にやさしい循環型農業をやっていることが楽しい。



農薬を使わず、畝間を耕して除草

除草剤が撒かれた他の畑



自家製の柿酢(自家製のものが沢山あります。)

◆**主な販売先・消費者との関係**
 80名の契約消費者へのコンテナ配送と若干の宅急便のほか、契約レストラン、百貨店にも出しています。

お問い合わせ
 096-2773-1191